

2014
3月

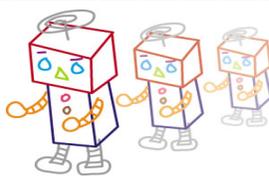
エコプラザ通信 Vol.106
ほっとHOTエコプラザ

もっと 愛 なあい?
MOTT AI NAI?

ロングロングキャンペーン実施中

★開館時間 10時～17時 ★休館日 水曜日

* 講座の申込は2月17日(月)10時からです。

日	月	火	水	木	金	土
 <p>「もったいないライン」開設しています。 「ごみにしないためのHOTラインです」</p> <p>不要になったものを「活かしてほしい」「適正に処分したい」などの相談窓口です。 情報を預かる「譲ります・求めます」コーナーもあります。おたずねください。</p>		<p>0952-33-0526</p> 				1
2	3	4	5	6	7	8
<p>生ごみ堆肥を使って 抗酸化力の高い元 気野菜作りをしませんか!</p>	<p>生ごみ活用! ぼかし作り 10時～11時30分 300円</p>	<p>布団綿から 「糸紡ぎ」体験 10時～11時30分 200円</p>		<p>足指開放! 「布ぞうり」づくり 10時～15時 500円</p>		
9	10	11	12	13	14	15
<p>体にやさしい 「布ナプキン」 10時～12時 500円</p>	<p>リユース食器 無料で貸出いたします</p> <p>食バザー等ごみを出さないイベントにご利用下さい。 「ウエス」をお付けします。後片付けがぐんと楽になりますよ!</p>				<p>きもの地から作る 「和の小物入れ」 10時～12時 300円</p>	<p>循環型社会体感ツアー 「生ごみリサイクル 学習会」 3,500円</p>
16	17	18	19	20	21	22
<p>エコマーケット 10時～14時 おもちゃ病院 10時～12時 100円</p>	<p>4月講座 受付開始 10時～</p>	<p>* エコマーケット出店希望の方へ 申込みは2ヶ月前から受け付けできます。(3月は除く) 必ず予約が必要ですので、事前にエコプラザカウンターで 直接申し込んで下さい。開催要項を説明します。</p>			<p>時短・省エネに! 「鍋カバー」づくり 10時～12時 300円</p>	
23/30	24/31	25	26	27	28	29
	<p>～お問合わせ・お申込み～ 佐賀市エコプラザ 〒849-0917佐賀市高木瀬町大字長瀬2369 TEL 0952-33-0520 FAX 0952-30-2457 ホームページ http://www.saga-ecoplaza.jp/ * 受託団体 * NPO法人さが環境推進センター</p>				<p>ホームページを 随時、更新しています。 あわせてごらん下さい</p>	

「ごみ」になるものを減らそう!

私たち消費者は三重にお金を払っている!!!何の事???

それは容器包装の事!

私たちは「モノ」を購入するときに「そのモノ」だけを目当てに買っていますが、ほとんどの商品はきれいに梱包されたり包装されたりしています。「はだか」で物を購入することは今では殆ど見かけなくなりました。お鍋を持ってお豆腐を買いに行ったのは遙か昔。

この梱包材や包装材にも消費者はお金をちゃんと払っています。しかも三重に!

まずは購入時に

例えばペットボトルのお茶で考えてみましょう。

もちろん欲しいのは中身のお茶だけですね!

500mLのお茶の定価を150円としましょう。

そのうちのペットボトルの代金はなんと50円~60円。

中身は90円~100円です。(京都宇治の最高級茶葉もこんなに高くはありません…多分)

空のペットボトルはすぐに「ごみ」になってしまうモノ。



ペットボトル
50~60円



牛乳パック
15円



びん
100円



缶
15円

次は廃棄するときに

有料のごみ袋を買わなければ捨てられません。ちなみにペットボトルのごみ袋は

- ・中 (30L入) 1枚 20円
- ・極小 (15L入) 1枚 10円

そして環境センターで処分するときに

昨年度の佐賀市のごみ処理費用は33億円です。(このお金は佐賀市民が支払った税金です。)

1人当たり約14,100円です。ちなみに佐賀市のごみの年間総量は87,930t

商品の一生を知ろう!

商品を購入することは、消費者にしてみればいわば、そのものへの投票行為と同じです。

すぐに「ごみ」になってしまうものなどや過剰包装している商品を避ければ作る側(企業側)へのプッシュにつながりますね。より良い商品作りへと変化を促すことにもなります。

私たちが商品を買うとき(お財布からお金を出すとき)に、どういった見極めが必要なのか。『お金の本』等を読むと、『ただ単純に「もの」と「お金」のバーターではなく、お金が喜ぶ使い方をしましょう。』などと言ったことも書かれています。

それには「商品の一生」を知ることが大きなヒントになりそうです。

そこにあるものを、当たり前のように受け止めて、当たり前のように手にとることは、もしかしたらもう終わりにしたほうがいいかもしれません。(と、思います。)

- ・原料は何?(天然のもの?石油由来?)
- ・誰がつくったの?(労働力は搾取されていないかしら?労働環境は?など、人権問題にも意識がいきます)
- ・どうやって作られたのかしら?(機械?人?必要以上に添加物や農薬とかは使っていないかしら…?)

ちゃんと意識をしましょう!

私たちのくらしや環境、体の健康にも左右していきます。

世の中の大切なことは、大抵が面倒くさい。その面倒くささを引き受けてこなかった結果が「今」の環境問題へとつながっているんですね。

(桑)